

東北大学知的財産シンポジウム

「新たなイノベーションエコシステムの構築に向けたイノベーション投資としての知的財産を考える」

2025

プログラム 》》

14:00 開会挨拶

遠山 毅 | 東北大学 理事 産学連携機構長

14:05 基調講演1

「イノベーション投資と知的財産」

添田 雅人 氏 | 株式会社日立製作所 グローバル知的財産統括本部 弁護士
一般社団法人日本知的財産協会 ライセンス第2委員会 委員長

14:25 基調講演2

「日本のイノベーションはどこへ向かうのか」

今村 亘 氏 | 経済産業省 大臣官房審議官(イノベーション・環境局担当)

14:45 Break

14:55 講演 1

「オープンイノベーションの誤解と知財戦略の本質」

早川 典重 氏 | 事業構想大学院大学 特任教授/はがみのもりデザイン CEO

15:10 講演 2

「スタートアップの知財戦略」

山本 飛翔 氏 | 弁護士法人法律事務所 amaneku 代表弁護士

15:25 講演 3

「シリコンバレーから見たスタートアップのマインドセットと知財の役割」

佐藤 玲奈 氏 | 新エネルギー・産業技術総合研究開発機構(NEDO) シリコンバレー事務局次長

15:40 Break

15:50 パネル・ディスカッション

「イノベーションを支える知財への投資 ～知の創出・蓄積と人の育成～」

戸次 一夫 | 東北大学産学連携機構・法学研究科 特任教授(研究)
パネラー 各講演者

16:50 閉会

* 司会進行 飯野 由里江 | 東北大学産学連携機構 特任教授

主催 東北大学産学連携機構

後援 INPIT(予定)

2025 年 3 月 7 日 金曜日 14時 - 17時

オンライン開催 Zoom ウェビナー

近年、日本産業の国際的な地位の低下に対して、イノベーションの創出が大命題とされ、その方策としてオープンイノベーションやスタートアップ創出等による日本の産業の復興が叫ばれています。しかしながら、十分な成果に結びつかないまま、円の価値が低下し続けています。イノベーションとは単なる技術革新ではなく、社会への新たな価値の提供であるため、コア技術への研究開発投資や特許出願等の知的財産権への投資だけでなく、産業として独り立ちさせるために、周辺技術も含めて社会実装を見据えた投資が必要です。優れたイノベーターを創出するためには、それら投資への回収、すなわち、知的財産権等を用いて収益を確保するための戦略が必須です。本シンポジウムでは、イノベーションを創出し育成するための条件を、投資という切り口で議論していきます。

事務局 》》東北大学産学連携機構 浅井・渡邊・戸次・水沼

*お問合せは右記 Web サイトに記載の問合せフォームよりご連絡下さい

》》詳しい講演内容と講演者プロフィールは裏面をご覧ください

申込方法 》》

参加費無料 | 申込順 400 名
(※ 切日: 3月5日)

知的財産にご興味のある方ならどなたでもご参加いただけます

東北大学産学連携機構 Web サイト
<https://www.rpip.tohoku.ac.jp>
または 2 次元コードよりお申込み下さい

3 月 6 日迄に参加 URL を
E-mail にてお送りします



東北大学知的財産シンポジウム 2025

～新たなイノベーションエコシステムの構築に向けた イノベーション投資としての知的財産を考える～

2025年3月7日 金曜日 14時-17時 | オンライン開催 Zoom ウェビナー

講演内容と講演者プロフィール

基調講演1

「イノベーション投資と知的財産」

イノベーション投資の成果の一つである知的財産について、投資（入口）に関する課題と解決策、リターン（出口）に関する課題と解決策を企業の視点から考えたい。

添田 雅人 氏 | 株式会社日立製作所 グローバル知的財産統括本部 弁護士

日本知的財産協会 ライセンス第2委員会 委員長

2014年1月株式会社日立製作所へ入社し、国内外企業との特許ライセンス交渉、知財紛争、M&A、コンサルティング業務等に従事。2023年4月より一般社団法人日本知的財産協会ライセンス第二委員会委員長。

基調講演2

「日本のイノベーションはどこへ向かうのか」

特許庁で特許審査・審判及び知財政策に携わった経験を基に、イノベーションの現状、日本のイノベーションは今後どこへ向かうのか。大学、研究者などへの期待、これからの日本のイノベーションに必要な知的財産、戦略、政策などについて語る。

今村 亘 氏 | 経済産業省 大臣官房審議官(イノベーション・環境局担当)

1994年特許庁審査官として入庁。特許庁で審査・審判業務や知財政策の企画立案を経験。2014年-2017年にはJETROニューヨークに赴任。米国知財アタッシェとして、米国の知財政策の動向を調査。2024年7月から新しく組織された、経済産業省イノベーション・環境局の審議官としてイノベーション行政に携わる。

講演1

「オープンイノベーションの誤解と知財戦略の本質」

オープンイノベーションが叫ばれていくつものプロジェクトが立ち上がるが、成功談は殆ど聞かない。なぜ、成功しないのか？成功するオープンイノベーションとは何か？そこには、知財戦略の誤解があり、成功するオープンイノベーションと知財戦略の本質を解き明かす。

早川 典重 氏 | 事業構想大学院大学 特任教授/はがみのもりデザイン CEO

知的資産を活用した独自の視点で新規事業や経営戦略を日米星で展開するBusiness Architect。2017年～2021年までThe World Leasing IP Strategist300に選出。前職の三井物産では、政府系知財ファンドIP Bridge、中国初の省エネエンジ北京泰豪、藤沢スマートタウンなど数々の新事業を一から立上げ軌道に載せる。/はがみのもりデザインCEO、事業構想大学院特任教授。

講演2

「スタートアップの知財戦略」

スタートアップにとっての知財の重要性や、スタートアップが知財戦略に取り組む際の留意点の概要をご紹介します。

山本 飛翔 氏 | 弁護士法人法律事務所 amaneku 代表弁護士

弁護士になって以来、一貫してスタートアップの知財戦略支援に取り組んでおり、2020年の3月には『スタートアップの知財戦略』を出版し、同月に特許庁よりスタートアップ知財の専門家として奨励賞を、2022年には週刊東洋経済の「法務部員が選ぶ弁護士ランキング」知的財産部門1位を受賞。2023年より法律事務所amanekuを設立し、同事務所の代表弁護士に就任。

講演3

「シリコンバレーから見たスタートアップのマインドセットと知財の役割」

シリコンバレーのスタートアップエコシステムに関わる方々が何を考え、特許を含む知的財産がその中でどのような役割を果たしているのかについて、講演者の視点から感じたことや理解した内容をお伝えします。

佐藤 玲奈 氏 | 新エネルギー・産業技術総合研究開発機構(NEDO) シリコンバレー事務局次長

2005年特許庁入庁。主に化学分野の特許の審査・審判に従事。また、広報、情報システムにおける国際調整、新興国の審査官研修なども担当。2022年よりNEDOへ出向し、現職。

パネル・ディスカッション

「イノベーションを支える知財への投資 ～知の創出・蓄積と人の育成～」

モデレーター 戸次 一夫 | 東北大学産学連携機構・法学研究科 特任教授(研究)

1996～1997年東陶機器株式会社知的財産部。1998～2019年特許庁審査官、審判官。この間、制度改正審議室・法規班係長、審査基準室課長補佐(平成27年特・実審査基準改訂プロジェクトリーダー)、品質管理室長を併任。弁理士試験、司法試験に合格。また、福島県田村市役所への被災地派遣を経験。2019年～東北大学大学院法学研究科教授。2023年～現職。著書「理工系のための特許・技術移転入門」(共著。岩波書店、2003)。